

【プログラム】

第1日 6月21日(木)

開会挨拶 野田 健治(原子力機構 理事) (10:00~10:05)

セッション1. 宇宙・エネルギー (10:05~11:20)
座長 伊藤 久義(原子力機構 量子ビーム応用研究部門)

1-1 SOI基板を用いた宇宙用半導体素子開発の現状と展望
久保山 智司(宇宙航空研究開発機構 総合技術研究本部)

1-2 耐放射線性SiC粒子検出器の実現に向けた素子開発・評価
大島 武(原子力機構 量子ビーム応用研究部門)

1-3 希土類添加窒化物半導体による光・電子融合システムの開発
若原 昭浩(豊橋技術科学大学)

(休憩 10分)

特別講演 (11:30~12:20)
座長 田中 茂(原子力機構 放射線高度利用施設部)

夢をかたちにーナノテクノロジーへの挑戦ー
横山 直樹(株式会社富士通研究所 ナノテクノロジー研究センター長)

(昼食 70分)

セッション2-1. 先端材料・計測・基盤技術 (13:30~14:45)
座長 本岡 輝昭(九州大学)

2-1 イオンビームによるナノリップル形成
高廣 克己(京都工芸繊維大学)

2-2 結晶性固体に対する低エネルギー C_{60} イオンの衝撃効果
鳴海 一雅(原子力機構 先端基礎研究センター)

2-3 金属酸化物を用いた光学式水素検出器の開発
山本 春也(原子力機構 量子ビーム応用研究部門)

(休憩 10分)

セッション2-2. 先端材料・計測・基盤技術 (14:55~15:45)
座長 福田 光宏(大阪大学)

2-4 反射高速陽電子回折による新たな表面研究
深谷 有喜(原子力機構 先端基礎研究センター)

2-5 AVFサイクロトロンにおけるマイクロビーム形成技術の開発

佐藤 隆博（原子力機構 放射線高度利用施設部）

（コーヒーブレイク 20分）

ポスターセッションⅠ.（会場：展示室）

（16:05～17:30）

懇親会（エムズカレントを予定）

（18:00～19:30）

第2日 6月22日（金）

セッション3. 環境・資源

（9:30～10:45）

座長 小嶋 拓治（原子力機構 放射線高度利用施設部）

3-1 排水中内分泌かく乱化学物質の放射線処理に関する研究
木村 敦（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

3-2 放射線グラフト金属捕集材を活用したホタテ貝加工副産物の有効利用研究
中居 久明（青森県工業総合研究センター 八戸地域技術研究所）

3-3 植物由来の新しい弾性ゲルの創製とその活用
長澤 尚胤（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

（休憩 10分）

セッション4. バイオ応用

（10:55～12:35）

座長 田中 淳（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

4-1 イオンビーム育種による高二酸化窒素浄化植物の育成
森川 弘道（広島大学）

4-2 線虫の food-NaCl 連合学習に対する放射線照射効果と神経回路シミュレーション
坂下 哲哉（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

4-3 炭素イオンマイクロビームで誘導されるヒト正常細胞の生物効果のバイスタンダー効果
鈴木 雅雄（放射線医学総合研究所）

4-4 がん診断・がん治療における新規放射性核種の有効性
飯田 靖彦（群馬大学）

（昼食 65分）

特別セッション 「量子ビームによる産業利用の新展開」

（13:40～15:35）

座長 岡田 漱平（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

T-1 広がる量子ビームの産業利用
岡田 漱平（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

T-2 イオンビームによる燃料電池用電解質膜の開発
浅野 雅春（原子力機構 量子ビーム応用研究部門）

T-3 中性子を用いた半導体素子のシングルイベント耐性評価
伊部 英史 (日立製作所)

T-4 量子ビームによるタンパク質構造研究の進展
黒木 良太 (原子力機構 量子ビーム応用研究部門)

T-5 放射光を活用したインテリジェント自動車触媒の研究とその実用化
田中 裕久 (ダイハツ工業)

T-6 産業・医療利用を目指したレーザー駆動粒子線加速器
大道 博道 (原子力機構 量子ビーム応用研究部門)

閉会挨拶 南波 秀樹 (原子力機構 高崎量子応用研究所長) (15:35~15:40)

(コーヒーブレイク 15分)

ポスターセッションⅡ. (会場: 展示室) (15:55~17:30)